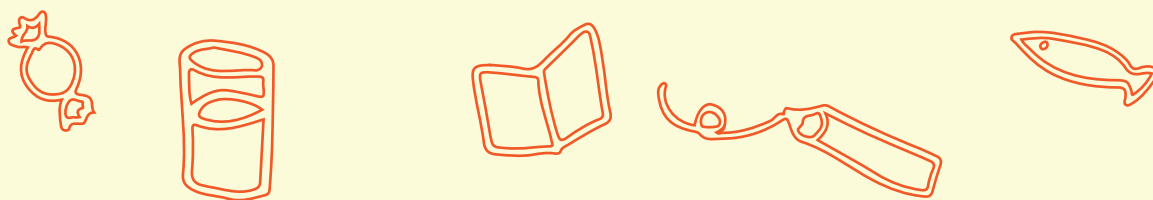


明日、首都直下型地震が起こったらどうしますか？

国際 NGO が見た しがわの防災 東日本大震災や海外での人道支援の経験から



東日本大震災から4年。全国で「防災」の大切さが強調されるようになりました。品川区でも多くの取り組みが進んでいますが、具体的なイメージはどこまでできているでしょうか。ありそうでなかった品川区の市民団体・町内会向け、災害直後の対応を考えるワークショップです。

2015年 **3月20日** (金)

午前 **10:30 ~ 12:00** (開場 10:00)

こみゆにていぷらざ八潮2階 協働推進室

第3交流スペース ※終了後交流会を予定

参加費： 無料

定員： 50名、要事前申し込み(3月10日まで)

お申し込み： 品川区地域活動課 協働・ふれあいサポート係
(協働ネットワークしがわ事務局)

お電話 **03-5742-6605** または FAX**03-5742-6878** にて
お申し込みください。

私たちの町、品川で災害が起こったらどうなるんだろう？

在宅避難者に食料や物資は届くの？避難所の運営はどうするの？

NPO や町内会の役割はなんだろう？

誰に聞いたらいいかわからない「？」、ここで話し合ってみませんか。

国内外の災害の支援経験豊富な国際 NGO 職員・五十嵐豪（AAR Japan [難民を助ける会]）さんをお迎えし、東日本大震災直後の支援活動や海外での人道支援を例に、国際 NGO の視点から、品川区の防災を考えます。終了後は交流会も予定しています。いざというときに町を守るのは私たち。顔つなぎの場となるよう、奮ってご参加ください。

講師



い が ら し ご う

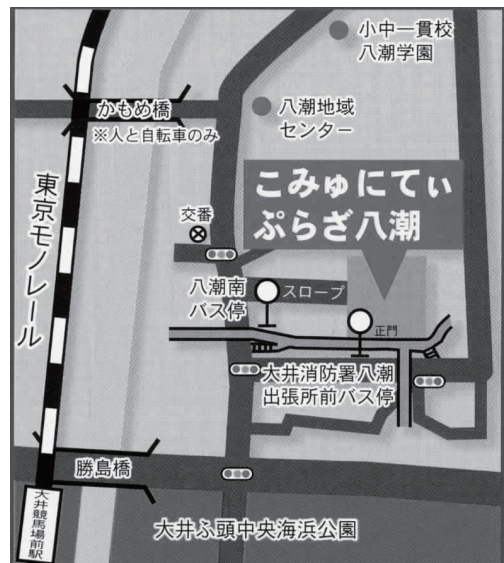
五十嵐 豪（AAR Japan [難民を助ける会] プログラム・マネージャー）

品川区に本部を置く国際NGO、AAR Japan [難民を助ける会] のプログラム・マネージャー。

イギリスの大学を卒業後、8年の民間企業勤務や国連インターンを経て、2009年9月よりAARへ。東京事務局でアフガニスタンでの地雷対策、ケニアでの衛生事業、シリア難民支援事業などを担当。東日本大震災（2011）のほか、ハイチ大地震（2010）、フィリピン台風（2013）などで緊急支援活動に従事。

アクセス

- 大井競馬場前駅（東京モノレール）徒歩 12 分
- 大井町駅（JR 京浜東北線・りんかい線・東急大井町線）
都営バス「東口（1 番乗り場）」から「八潮パークタウン」行で約 15 分、
「八潮南バス停」徒歩 1 分
京急バス「東口（2 番乗り場）」から「八潮パークタウン」行で約 15 分、
「大井消防署八潮出張所前バス停」から徒歩 1 分
- 品川駅（JR 京浜東北線・山手線・東海道線）
都営バス「港南口（東口）（3 番乗り場）」から「八潮パークタウン」行
で約 21 分、「八潮南バス停」徒歩 1 分
- 大森駅（JR 京浜東北線）
京急バス「東口（8 番乗り場）」から「八潮パークタウン」行で約 12 分、
「大井消防署八潮出張所前バス停」から徒歩 1 分



▼ FAXによるお申し込みは、こちらのお申し込み用紙に必要事項をご記入いただき、切り取らずにそのまま下記FAX番号までお送りください。

FAXお申し込み用紙

FAX番号 03-5742-6878

国際NGOが見た しながわの防災
東日本大震災や海外での人道支援の経験から

2015年3月20日（金）こみゅにていぷらざ八潮
10時30分～12時（開場10時）

氏 名	ふりがな	住 所	〒

電 話	<input type="checkbox"/> ご自宅	e-mail	
FAX	<input type="checkbox"/> 勤務先		
団体名		交流会	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加